

ボランティアのしおり



学校名： _____ 学 年： _____ 年

名 前： _____

早島町社会福祉協議会

※ボランティアを体験する前にお読みください。また、全ての体験が終了した後、参加者アンケートの提出にご協力ください。

ボランティア体験活動の進め方

ボランティアチャレンジとは

社会福祉施設や地域のボランティアグループなどでのボランティア体験活動を通じ、福祉やボランティアについての理解を深めると同時に、様々な出会いのなかから、新しい発見や「ともに生きていく」視点を育みます。

Step 1

活動先を決める

募集要項をよく読み、最大2カ所の活動先を選んで参加申し込みをしましょう。

Step 2

事前の準備

- ① 資料などを読み、ボランティア活動の心構えや体験活動の流れなどについてよく理解しておきましょう。
- ② 活動する前に、活動先への事前連絡を行うなどしておきましょう。活動先から電話連絡がある場合があります。
- ③ 活動先の担当者の指示にしたがうようにしましょう。必要な持参品や服装を確認しましょう。
- ④ 活動先で事前オリエンテーションや説明会が行われる場合、必ず参加しましょう。
- ⑤ 自己の健康管理に十分に留意して活動に臨みましょう。

Step 3

体験活動

活動中の留意事項を守るとともに、個々に目標を設定するなどして、積極的に取り組みましょう。

また、活動終了後は活動先としてご協力いただいた方々（利用者・職員等）への感謝の気持ちを伝えることを、忘れないようにしましょう。

Step 4

体験後

体験活動をより有意義なものにするために、活動を通して得られた成果、または悩みや課題など、今後のボランティア活動への期待や抱負について考え、自身の活動の振り返りや活動で感じたことを、感想としてまとめましょう。

体験活動に参加するにあたって

次の事項を必ず守ってください

- ① 活動先や関係者と決めたことは、必ず守りましょう。
- ② 何らかの理由で変更がある場合は、必ず活動先に連絡をしてください。
- ③ 活動先や社会福祉協議会から、参加者へ連絡をする場合がありますので、本人が留守でも、家族の方が電話に出てもわかるように、ボランティア活動を行うことを説明しておいてください。
- ④ ボランティア活動は、自由な活動ではありますが、責任も伴います。家族や周囲の方々の理解を得ながら進めていきましょう。
- ⑤ 活動中にけがをした場合や、活動先の備品を壊してしまった場合などは、すぐに活動先の担当者、早島町社会福祉協議会へ連絡してください。
- ⑥ 活動は無理をせず、健康に気を付けて進めていきましょう。体調が悪い場合は、休むようにしましょう。休む場合は必ず受入施設に連絡をするようにしましょう。

体験活動中の注意事項

- ① 担当者の指導のもとに、体験活動を行うこと。
- ② 体験活動を通して知り得た、活動先や利用者の情報は、外部で話さないこと。
- ③ 活動先の設備、備品、器具を使用する場合は、必ず許可を得ること。
- ④ 集合時間などを厳守すること。万が一、体調不良などでやむを得ず欠席・遅刻・早退をする場合には、必ず活動先の担当者に連絡すること。
- ⑤ 活動先や利用者に、迷惑をかけるような言動は慎むこと。
- ⑥ 自分から学ぶ積極的な心構えを忘れず、自覚を持って接すること。
- ⑦ 指示されたことだけでなく、積極的な態度で行動すること。
- ⑧ 言葉づかい、あいさつ、服装について
 - ア. 活動先の職員や利用者の方との会話の際、言葉づかいに十分注意すること。
 - イ. 活動開始時・終了時のあいさつを徹底すること。
 - ウ. 服装は、受入先にふさわしいものであること。
- ⑨ 健康管理について
 - ア. 健康に留意し、体調を整えること。
 - イ. 活動中に体調に異変を感じたり、事故が起きた場合は、活動先に連絡し、指示を仰ぐこと。
- ⑩ 体験活動の記録について
 - ア. 記録には、実名は避けること。
 - イ. 誤字脱字のないように注意すること。

ボランティア活動の心構え

① とにかくやってみよう

ボランティア活動をあまり難しく考えないで、とにかくやってみることが大切。何もやれないと思うより、何かやれることがあるかもしれないという気持ちで……。

② 責任をもって

ボランティア活動は、自分から進んで行う活動ですが、責任をもってください。やむを得ず、活動予定日に都合が悪くなって、欠席または遅刻する場合は、必ず事前に活動先へ連絡をしてください。

③ 無理のないように

ボランティア活動は、自分の意思に基づいて行う主体的な活動です。活動内容や活動期間など、自分にあった活動を選んでください。無理をせず活動を行うことを心がけましょう。

④ 誠心誠意

誠心誠意活動することは、何よりも大切なボランティアの姿勢です。活動先の施設・団体の目的や機能を理解し、ボランティアとしての役割や活動を見つけ、職員の方の指示にしたがって、活動を進めましょう。

⑤ ひとりで悩まずに

活動中にわからないことや困ったことなど、相談したいことがあれば、友人や家族、活動先の担当者や社会福祉協議会へ相談するようにしましょう。

⑥ 人間関係を大切に

人と人との関係を大切にし、共に助け合っていきましょう。活動先で知り合った方との関係やボランティアを受け入れてくださる施設・団体の方々との関係を大切にしましょう。

⑦ 相手の気持ちを考えて

ボランティア活動を行うにあたって、相手の方の意思や考えを尊重してください。やさしさの押しつけはしないで、相手を理解するよう、心がけましょう。ボランティア活動を通して知った相手のプライバシーに関することは絶対に口外しないでください。

施設でボランティア活動を始めるときにあたって

① 施設の目的と内容をよく理解しておきましょう

活動を行う施設がどのような種類の施設なのか、ひとことに施設といっても、性格や雰囲気の違いがあります。まずその施設の目的と内容を十分に知ったうえで活動することが大切です。また、相手の立場や思いについても深い理解をもち、一人よがりの善意にならないよう、注意しましょう。

② 不必要な同情や、生活されている方の担うべき責任を侵すことのないように配慮しましょう

人を人としてあるがままに受け入れること、人間が人間を「人間として尊重する態度」が基本的に必要です。「施設に入居されている方に、不必要な同情をすとか、担うべき責任まで代わって背負うことは困ります。ハンディキャップを理解し、前向きに歩んでいく姿を見てほしい。」というのが、施設職員の率直な意見ではないでしょうか。

③ 施設のリズムを大切にしましょう

私たちの家庭にも生活のリズムがあるように、施設にも生活のリズムがあります。施設の方の生活のリズムを乱さないようにしましょう。

④ 職員とよい関係を結ぶようにしましょう

ボランティアは、枠にとらわれず自由であり、柔軟性に富んでいて、施設内（利用されている方）に新しい感覚や適度の刺激をあたえることができるという一面をもっています。

しかし、注意しないと、深入りしすぎたり、かえって干渉がましくなったりすることがあります。そういうことのないよう、職員と意見交換や連絡調整をとりつつ活動し、ボランティアのよい面を存分に発揮してください。

⑤ 活動先へ事前連絡を忘れないようにしましょう

必ず事前に訪問の目的、日時などを連絡するようにしましょう。また、自分たちが何をしたいのか、何ができるのかをあらかじめ施設側に伝えておくともよいでしょう。そして、決めた事は必ず守りましょう。

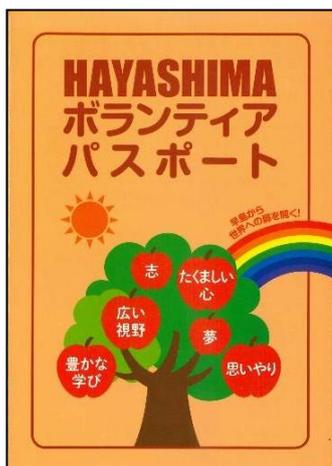
⑥ 感謝の気持ちを大切にしましょう

施設の方々は、ボランティア体験活動を通して、成長してもらいたいと考えて、受入れをしてくださっています。

受入れをしてくれた施設の方や利用者さんに対して、感謝の気持ちを大切に体験活動を行いましょう。

確認事項

- ①活動日が決まったら、必ず家族に活動日と活動時間を報告しておいてください。
- ②体調不良となった場合は、無理せず活動日の変更もしくは休むようにしてください。そのときは、必ず活動先の担当者にまで連絡を忘れないようにしてください。
- ③ボランティア活動の記録は、学校で配られた「HAYASHIMAボランティアパスポート」に毎回記入して、活動先の担当者から印、もしくはサインをしてもらってください。



| |
|---------------------------|
| 日時：平成 年 月 日 曜日 時～ 時 |
| 活動した行事等 |
| 活動した場所 |
| どのような活動をしましたか？ |
| ふりかえり（気づいたこと・活動してみて思ったこと） |
| サイン |

ボランティア活動保険について

ボランティア活動中、施設の備品を壊したり、施設利用者にけがをさせたり、自分自身がけがをした場合等に補償の対象となります。

補償の対象となるボランティア活動

日本国内における自発的な意思により他人や社会に貢献するボランティア活動

補償の対象となる事故

傷害事故

ボランティア活動中の事故により、けがをしてしまった場合

賠償事故

ボランティア活動中の事故により、他人にけがをさせたり、他人のものを壊したことにより、法律上の賠償責任を負った場合

留意事項

- ・活動のための学習会や勉強会、会議なども保険対象となります。
- ・活動場所と自宅の往復途上での事故も補償の対象となります。ただし、通常の往復経路に限ります。
- ・自動車での事故は、加入者自身のけがのみが対象となり、対人、対物事故等の賠償責任については対象となりません(自動車保険があるため)。

補償期間

加入手続きの完了した日の翌日から翌年3月31日まで

※事故が発生した時は、すみやかに早島町社協(086-482-3000)までご連絡ください。

≫2025夏のボランティアチャレンジ≪

修了証

あなたは夏のボランティアチャレンジに
参加し、修了したことを証します



社会福祉法人
早島町社会福祉協議会
会長



以下のすべてを達成された方には『修了証』を発行いたします。

- 「ボランティアチャレンジ」で申し込みした全ての活動を終了している
- 「ボランティアパスポート」に活動の記録をしている
- しおりの「参加者アンケート」「参加しての感想」に回答している

「ボランティアパスポート」、「ボランティアのしおり」に必要事項を
記入し、8月25日(月)までに早島町社協窓口までお持ちください。

※このページに受付印を押して『修了証』とさせていただきます。

《問い合わせ先》

社会福祉法人 早島町社会福祉協議会
都窪郡早島町前潟249-1 ☎086-482-3000
受付時間:平日・土曜日 9時~17時

2025夏のボランティアチャレンジ 参加者アンケート



夏ボラチャレンジへのご参加、ありがとうございます。活動おつかれさまでした！
より充実した夏ボラを来年も開催するため、アンケートへのご協力をお願いいたします。

学年 年 組 氏名

A. 今回はどのボランティアを体験しましたか？当てはまる数字すべてに○をしてください。

| 番号 | 体験先 | 番号 | 体験先 |
|----|---------------------|----|--------------------|
| 1 | 早島幼稚園 | 13 | 夏休み「チャレンジ教室」の活動補助 |
| 2 | 早島保育園 | 14 | 「わくわくサマータイム」の活動補助 |
| 3 | わかみや保育園 | 15 | 備中はやしま夏まつり会場ボランティア |
| 4 | かんだ保育園 | 16 | 「夏まつりごっこ」の運営補助 |
| 5 | アートチャイルドケア岡山早島保育園 | 17 | 「宿題会」の運営補助 |
| 6 | アートチャイルドケア岡山早島児童プラザ | 18 | 「夏の夜のおはなし会」の活動補助 |
| 7 | 早島児童館 | 19 | 「おはなしの会」での読み聞かせ体験 |
| 8 | 早島町立留守家庭児童会 | 20 | パソコンサロンの活動補助 |
| 9 | 早島町地域活動支援センター「梅檀の家」 | 21 | 簡単手話入門講座への参加 |
| 10 | 生活介護事業所ぬかつくるとこ | 22 | 給食ボランティア体験（調理） |
| 11 | 特別養護老人ホーム白亜館 | 23 | 給食ボランティア体験（出し物） |
| 12 | 早島町デイサービスセンター | 24 | 収集ボランティア体験会 |

B. それぞれの体験先の体験日を教えてください。

体験先①：番号【 】体験日【 】

体験先②：番号【 】体験日【 】

体験先③：番号【 】体験日【 】

C. 今回の活動をふりかえり、あなた自身はどのように思いましたか？自分の気持ちにどれくらいあてはまるか、次の6項目それぞれの数字に○をしてください。

- | | | |
|---------------------------|----------|------------|
| ① 気持ちの達成感が生まれた・・・ | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| ② 人や地域の役に立ちたいという気持ちが生まれた・ | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| ③ 人に対して思いやることを考えるようになった・ | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| ④ 「もっと～したい」など、目標ができた・・・ | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| ⑤ 活動を通じて自分自身が成長できた・・・ | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| ⑥ 新しい出会いがあり、人間関係の輪が広がった・ | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |

D. ボランティア活動についてのイメージは、体験前と後で何か変わりましたか？あてはまる数字に○をしてください。

1. 変わった 2. 少し変わった 3. 変わらなかった

E. これからも機会があれば、ボランティア活動に参加してみたいですか？あてはまる数字に○をしてください。

1. 参加したい 2. 参加したくない 3. 検討している



裏面にもご協力ください

夏のボランティアチャレンジ 参加しての感想（体験のまとめ）



今回、夏の体験ボランティアに参加してみて、思ったこと・感じたこと・考えたことなど、内容は短くても構いませんので、よろしければ感想をお願いします。

Q.体験先ではどんな活動をしましたか？

Q.今回の体験から気が付いたこと、学んだことはありましたか？

Q.今回体験してみて、初めてわかったことはありましたか？

Q.体験を終えてみて、今のボランティア活動へのイメージを教えてください。

Q.そのほかにも何か感想があれば教えてください。

- この感想を、報告書や広報紙を通じていろいろな方に読んでもらってもよろしいですか？
同意していただけるのであれば「はい」に○をしてください（掲載時は匿名にいたします）。

はい ・ いいえ

アンケートへのご協力、ありがとうございました。
早島町社協窓口まで、8/25(月)までに提出してください。